

GWに雪山を目指して歌宿までバスが通った仙丈ヶ岳へ登りました。

～1日目～

仙流荘の駐車場へ止め、バスで歌宿へ。GWということで登山者が多く駐車場も満車になるのではと心配していましたが、予想外に人は少ない。それでも始発のバスは3台出ました。

長衛小屋にテント設営後登山道の偵察。今回の山行計画は仙丈ヶ岳1日、仙水峠から駒津峰1日です。しかし、仙水峠までの道を偵察すると凍った斜面のトラバースになっていてちょっと怖い。仙水峠経由の駒津峰はあきらめ、代わりのルートとして、北沢峠からの登りを偵察。双児山までのルートを確認しました。こちらは一部雪が深くトレースがわかりにくい部分がありましたが、大丈夫。

～2日目～

4時過ぎから仙丈ヶ岳へ向け登り始めました。3合目付近から雪が登山道に残りアイゼンをつけての登山となりました。山頂では風も弱く暖かく、のんびりと景色を堪能できました。

～3日目～

昨日の仙丈アタックでは、森林限界上での日の出には間に合わなかった。日の出は5時前、小仙丈まで3時間として、1時起き、2時出発で朝焼けにチャレンジすることにする。

星が輝く登山道を登り、小仙丈ヶ岳付近にて日の出。薄明から周囲の山々がシルエットとして現れ、赤く燃える（もう少し赤いとさらに良かったのですが・・・）様子が見られました。（写真1, 2, 3）

山頂着5:50 この時期の3000mとしては想定外の暖かさで無風。山頂を独占して360度の景色を堪能。（写真4）

また、ずっと探しながら登っていた雷鳥に、下山時山頂からの少し下で会うことができました。会えるときは本当に登山道の横に何事もなかったように居るんですね。雷鳥は「ケロロロ」ってカエルみたいに鳴いていました。びっくりです。（写真5）

長衛小屋のテント場まで戻り、バスの時間調整でまったり昼寝。その後、ちょっとつらい歌宿までの林道歩き。歌宿手前で鋸岳の鹿窓が見える。ぜひ行きたい。（写真6）

テント泊で昼から飲んで、星の写真撮って、朝焼けみて、雷鳥に会ったりと、やりたいこと満載の山行でした。

写真1 甲斐駒夜明け前

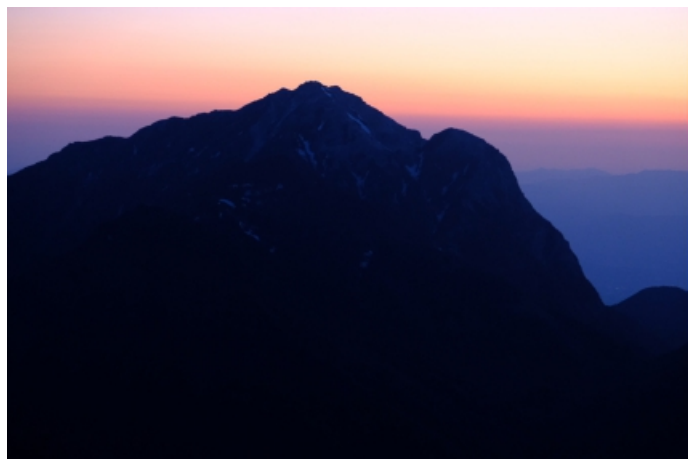


写真2 北岳と向こうに富士山



【コースタイム】

<1日目>

歌宿	6:50
北沢峠	8:30
長衛小屋	8:45
テント設営後、登り口偵察	
双児山	12:30
長衛小屋	14:20

<2日目>

長衛小屋	4:30
藪沢分岐	6:10
小仙丈ヶ岳	7:10
仙丈ヶ岳	8:20 - 8:40
小仙丈ヶ岳	9:30
藪沢分岐	10:10
長衛小屋	11:30

<3日目>

長衛小屋	2:00
藪沢分岐	3:30
小仙丈ヶ岳	4:40
仙丈ヶ岳	5:50 - 6:10
小仙丈ヶ岳	7:00
藪沢分岐	7:30
長衛小屋	8:30 - 10:40
北沢峠	10:50
歌宿	12:30

写真3 朝焼けの女王様



写真4 早朝の山頂にて



写真5 雷鳥さん



写真6 鹿窓！

